1日目 9月16日

会 場： 松江市営野球場

第1試合	～1回戦～ (7回コールド)																	
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
開 星	0	0	0	5	0	4	6									15	19	2
松江南	1	0	0	0	0	0	0									1	8	2
(投手-捕手)																		
・ (開)	曾田→百合澤→川谷 - 吉川																	
・ (松)	植田→森山 - 板谷																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (開)	松浦2、田村、佐藤、前井出																	
・ (松)	山本、板谷																	
(審判) [球審]	筑後			〔一塁〕 宮森謙					〔二塁〕 三宅					〔三塁〕 飯塚				
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(開)	47	19	14	5	0	0	4	9	2	2		0		2	0	0	0	0
(松)	29	8	1	2	0	0	12	1	0	0		0		2	1	0	0	0

「開星、中盤の連打で突き放し初戦突破！」

試合は両者似た展開で初回から動いた。1回表、開星は死球の走者をエンドラン空振りの間に2塁に進塁しチャンスを作るも3番前井出が倒れ、2塁走者の飛び出しで先制の好機を生かせない。その裏、松江南は先頭が同じく死球で出塁すると、ショートへのゴロで併殺かと思われたが、ショートの1塁転送が暴投となり1死2塁のチャンスを作る。2死となり4番山本が開星先発曾田のスライダーを捉え、ライト越え2塁打で先制した。

開星は2・3回とチャンスを作るものの、得点を奪えない。すると3回裏、松江南は2死から2番福田のレフト越え2塁打でチャンスをつくり、3番福田がレフトへヒットを打ち追加点かと思われたが、レフトが捕球にもたついたものの好返球で刺殺し追加点を許さなかった。このプレーで流れが変わり、直後の4回表に開星は先頭の松浦がライト越え2塁打でチャンスをつくると、続く打者もヒットを打ち盗塁で無死2・3塁とし、7番佐藤がスクイズを試みるが捕手へのフライとなる。更に8番曾田の1B1Sから再びスクイズを試みるがファールとなり、四球で1死満塁となった。9番吉川の初球、3度目となるスクイズを敢行し、1塁線へのヒットとなり同点に追い付くと、1番田村が初球を振り抜き左中間への適時2塁打で3点を追加し、一気に松江南を突き放した。

開星は6回に松江南2番手の板谷を捉え、2死から5連打で4点、7回にも6本の安打を集め6点と計15得点の7回コールドで圧倒した。松江南は5回まで6安打放つも、開星先発の曾田に10奪三振を与え、6回以降の継投に得点を奪えなかった。